

防災
特集

自助の意識は身につけていますか？
減災の主役はあなたです！

保存版

2017年(平成29年)
9月1日発行



太田市民の皆さん！
「自分はきつと大丈夫」と
思っていないませんか？



自助・共助の重要性

●自助とは

自分（家族も含む）の命は自分で守る、自分のことは自分でなんとかする、ということです。

「自助」は防災の基本となる概念です。

地震に備え食料を備蓄したり、地震発生時に迅速に避難するなど、自らの身を自ら守る



●共助とは

自助が防災の基本と述べましたがやはり自分でできることには限界があります。自分や家族だけでなく、近隣住民で形成する町内会などの小さな地域コミュニティで共に支え合い助け合うことです。

地域などで互いに協力し、助け合って初期消火や避難を行う



●公助とは

地方公共団体（消防・警察含む）や自衛隊による援助のことです。

県、市町村、国などが消火・救助など応急活動を行う



? もし

もしも被災してしまったら、皆さんを助けてくれるのは誰でしょう？

阪神淡路大震災から語り継がれている教訓として、大規模な災害が発生した場合、**自助：共助：公助の割合はおおよそ7：2：1**とされています。

災害発生直後は自分の命は自分で守らなければなりません。決して対岸の火事ではなく自分のこととして備えることが重要です。

Information 情報



「今、何が起きているの？」何かあった時、一番気になることではないでしょうか。

テレビ、ラジオ、メール、インターネットなど、皆さんは必要な情報をどのように入手していますか？

平成27年6月に太田市はヤフー株式会社と協定を締結しました。市ホームページやおた安全・安心メールなど従来の情報配信ツールに加え、**ヤフー防災速報**を通じてもさまざまな情報を配信しますので積極的にご登録ください。

詳しい登録方法は市ホームページ「防災防犯課」をご覧ください。



Prepare

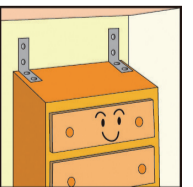
『備えあれば憂いなし』ということわざがありますが、皆さんは災害に備えていますか？

災害をゼロにすることはできませんが、日頃からの備えで**被害を減らすことは可能です**。

阪神淡路大震災で亡くなった方の死因は家屋の倒壊や家具の転倒による窒息・圧迫死が約77%というデータがあります(図1)。

いつ起きるか分からない災害に備え、家具の固定や食料の備蓄など、**今日からできることを始めてみませんか？**

家具をしっかり固定して安心！



も



Know 知る

自宅や学校、勤務先など周辺にどのような危険が潜んでいるのか知ることから始めませんか？

裏山で土砂災害が起きたら

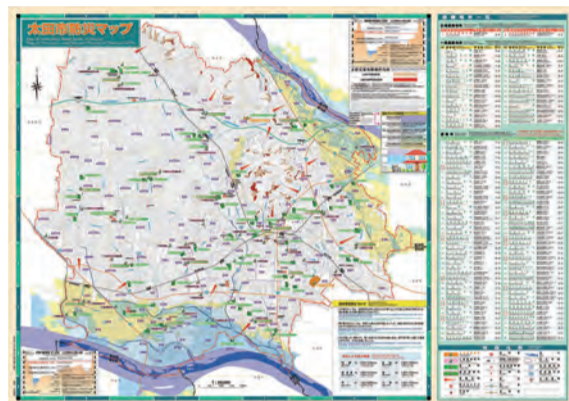


近くを流れる河川が氾濫したら

未曾有の大地震が発生したら



太田市地震防災マップ 発行：建築指導課



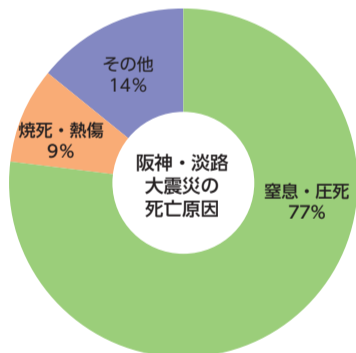
太田市防災マップ 発行：防災防犯課



今後30年以内に**70%**の確率で発生するといわれる南海トラフ地震および首都直下型地震。もしも、この巨大地震が発生した場合、太田市内では**推定最大震度5強、6強**がそれぞれ想定されています。

その時、あなたはどうしますか？

備える



(図1) 出典「阪神淡路大震災調査報告総集編」



生活に必要な備蓄品など



南海トラフ地震 市内想定最大震度 **震度5強**

- 物につかまらないと歩くことが難しい
- 棚にある食器類や本で落ちるものが増える
- 固定していない家具が倒れることがある
- 補強されていないブロック塀が崩れることがある

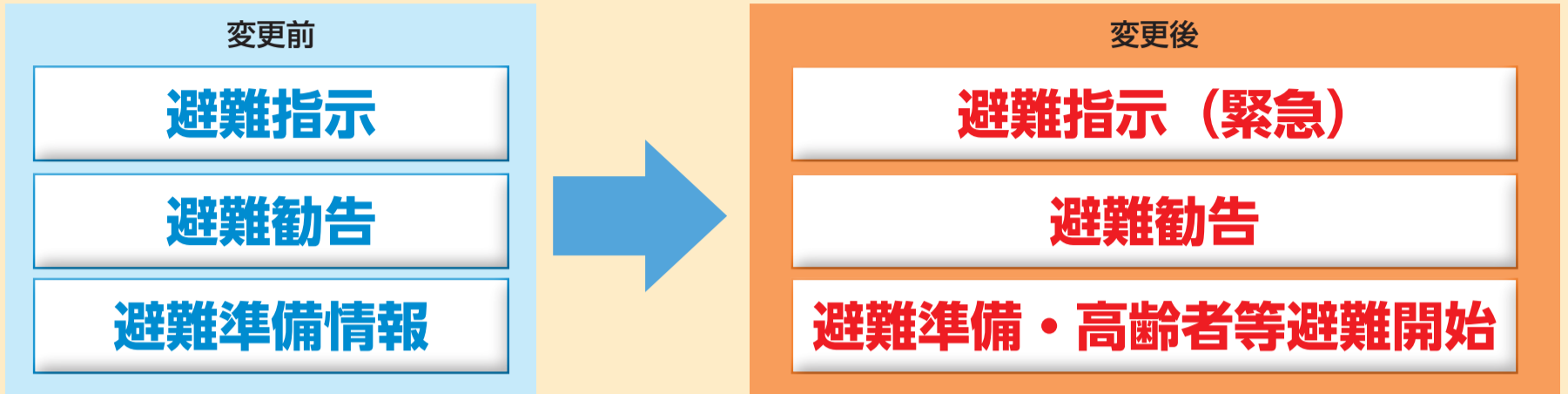


首都直下型地震 市内想定最大震度 **震度6強**

- はわないと動くことができない。飛ばされることもある
- 固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える
- 大きな地割れが生じたり、大規模な地滑りや山体の崩壊が発生することがある

避難準備情報等の名称が変更になりました

高齢者など避難に時間を要する人が、避難を始める段階であることを明確にするため、平成28年12月から「避難準備情報」の名称が「**避難準備・高齢者等避難開始**」に変更になりました。
併せて、「避難指示」の名称は「**避難指示（緊急）**」に変更になりました。



避難勧告や避難指示（緊急）を発令することが予想される場合

災害による被害が予想され、人的被害が発生する可能性が高まった場合

災害が発生するなど状況がさらに悪化し、人的被害の危険性が非常に高まった場合

避難準備・高齢者等避難開始

避難勧告

避難指示（緊急）

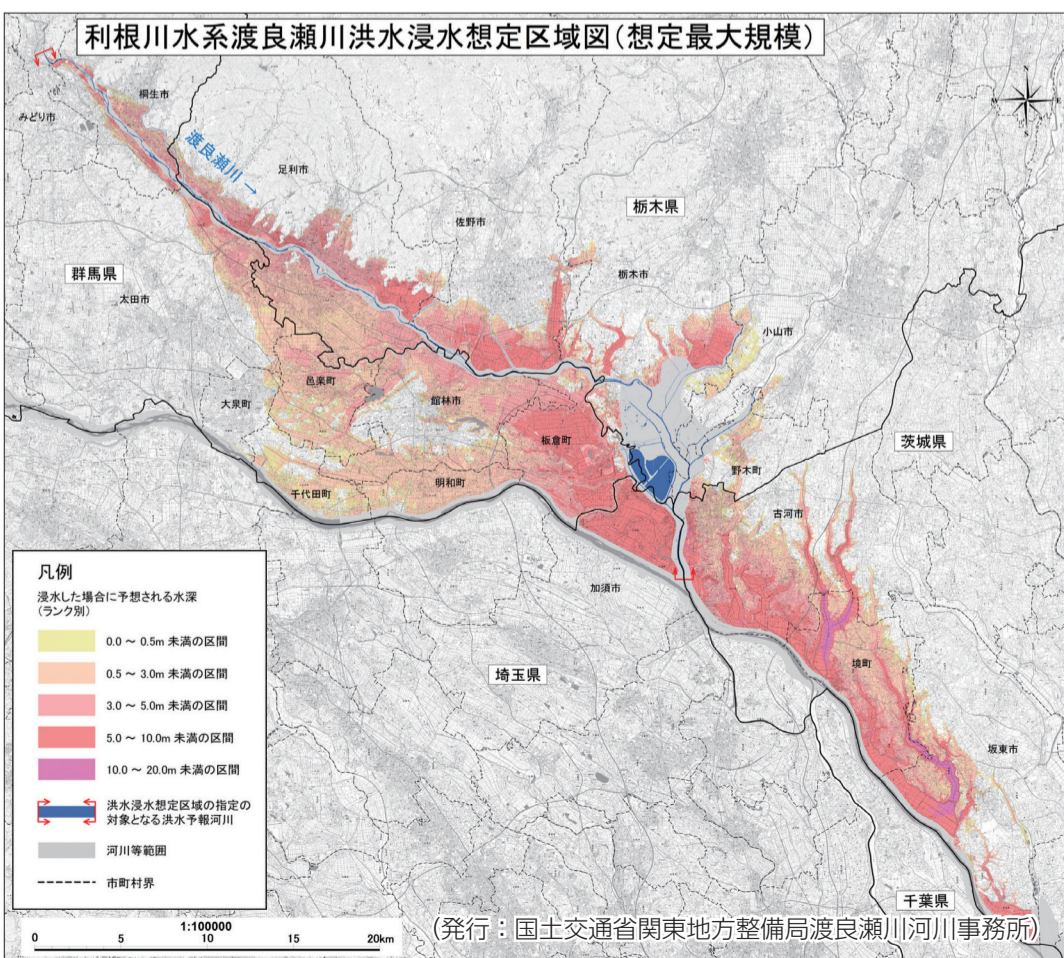
- 避難に時間を要する人（ご高齢の人、障がいのある人、乳幼児など）とその支援者は避難を開始しましょう。
- その他の人は、避難の準備を整えましょう。

- 速やかに避難場所へ避難をしましょう。
- 外出することでかえって命に危険が及ぶような状況では、近くの安全な場所への避難や、自宅内のより安全な場所に避難をしましょう。

- まだ避難していない人は、緊急に避難場所へ避難をしましょう。
- 外出することでかえって命に危険が及ぶような状況では、近くの安全な場所への避難や、自宅内のより安全な場所に避難をしましょう。

※災害の状況により、必ずしもこの順番通りに発令されるとは限りませんのでご注意ください。また、これらの情報が発令されていなくても、身の危険を感じる場合は避難を開始してください。**「まだ大丈夫」という意識は大変危険です。** 早め早めの避難行動を心掛けましょう。

今回の「防災特集 自助の意識は身につけていますか？」は1部あたり7・78円で作製しました。



洪水浸水想定区域が変わりました

水防法の改正に伴い、平成29年7月、河川管理者（国・県）が想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域を公表しました。これに基づき、今後、太田市は防災マップの改訂準備をしていきます。作成後は市ホームページや広報などでお知らせしますので、ご確認ください。

市に関する浸水想定区域公表河川一覧

管理者	河川名
国	利根川
	渡良瀬川
県	石田川
	蛇川
	早川 ※
	広瀬川 ※
	粕川

※2河川は一部国管理区間があります。

